

## 带状疱疹

後ろ頭がピリピリ、チクチク痛いと言  
う。「後頭神経痛か。ならば、首が原因  
だ」と決め付けては、医者も患者さんも痛  
い目に遭う。

62歳のSさん。何もしないのに、左の  
後ろ頭がピリピリ痛むようになった。肩凝  
りが強いし、首筋も張る。きつと、本コラ  
ムに書いてあった「後頭神経痛」かも、と  
簡単に考えていた。それが、だんだんと痛  
みが強くなる。3日後には、「痛くてよく  
眠れなかった」と、恨めしい顔をしてい  
る。

確かに、後ろ頭の痛いと訴えるところ  
は、後頭神経の分布域である。その痛み方  
も、神経痛に違いない。調べてみると、椎  
間板が傷んで頸椎は変形している。首筋も  
硬くなっている。だが、首を動かしても、  
後頭神経の通り道を押さえても痛いとは言  
わないのだ。首が原因にはおかしい。

と云えば、後頭神経痛の原因として  
は、**「带状疱疹」**も考えておかなけれ  
ばなるまい。带状疱疹は、ウイルスによる  
神経炎のために神経痛を引き起こす。早く

治療をすれば怖い病気ではない。が、遅れ  
ると、数年に渡って痛みが残ることもあ  
る。

带状疱疹は、痛いところに赤い斑点や水  
ぶくれが带状疱疹になって出てくる。一見すれ  
ば、新米の医者でも診断できる。が、その  
発疹が出るのは、多くは痛くなってから  
4、5日から1週間経った後である。だか  
ら、Sさんのように、中途半端な時に診さ  
せられるのは医者泣かせなのである。

ま、よほど疑いが強ければ、発疹がなく  
ても抗ウイルス剤を使うこともある。でな  
ければ、「痛いところに発疹が出たら、す  
ぐに診せに来て」と患者さんに頼まなけれ  
ば。ところが、Sさんは、どこまで分かっ  
ているのか？

あれから、3日も経つ。薬もなくなるこ  
ろだ。が、音沙汰がない。ただの神経痛だ  
ったのか、それとも？と、あー。今夜も、  
眠れない。

(石黒修三IIいしへろクリニック・脳神経  
外科専門医・12/27北國新聞掲載)